

【 投薬 】**814 アシクロビル【内服薬】（造血細胞移植後の患者等）の投与期間について**

《令和8年4月30日》

○ 取扱い

造血細胞移植後の患者、ボルテゾミブ又はベンダムスチン投与終了後の患者に対するアシクロビル【内服薬】（ゾビラックス錠等）の投与期間について、移植後（同種・自家）又は投与終了後から1年未満は、原則として認められる。

なお、1年以上の場合は、患者の基礎疾患やGVHD等治療内容から個々の症例により判断する。

○ 取扱いを作成した根拠等

造血細胞移植ガイドライン（日本造血細胞移植学会）には、移植後1年を境に「ACV（アシクロビル）の少量長期予防効果が認められた」との記載があり、造血細胞移植後1年未満のアシクロビル【内服薬】（ゾビラックス錠等）の投与は有用と考える。また、ボルテゾミブ又はベンダムスチン投与終了した患者に対しても同様に1年未満の投与は有用と考える。

以上のことから、造血細胞移植後の患者、ボルテゾミブ又はベンダムスチン投与終了後の患者に対するアシクロビル【内服薬】（ゾビラックス錠等）の投与期間について、移植後（同種・自家）又は投与終了後から1年未満は、原則として認められると判断した。

なお、1年以上の場合は、患者の基礎疾患やGVHD等治療内容から個々の症例により判断する。